

# ドラゴン・キングダム

2008(平成20)年7月26日鑑賞(梅田ピカデリー)

★★★



## 第1章

目立っ  
たのは  
米中合  
作

監督=ロブ・ミンコフ/アクション監督・製作総指揮=ユエン・ウーピン/出演=ジャッキー・チェン/李連杰/マイケル・アンガラーノ/リュウ・イーフェイ/李冰冰/コリン・チヨウ (松竹配給/2008年アメリカ映画/105分)

……「2人のJ」の初共演を実現させたのはさすがハリウッドだが、裏主役とも言うべき2人の美女の共演にも注目！「米中融合もここまで！」という実写カンフーの迫力と、時空を超えたファンタジーをタップリ楽しめば、極楽、極楽……。これを機会に、孫悟空や白髪魔女などの勉強に取り組み、あなたの夏休みも充実するのでは……？

## 映画界における米中融合は、今やここまで！

『グリーン・デスティニー』(00年)は武侠映画、カンフー映画を世界的に認知させる大ヒットとなったが、これはハリウッドに進出した<sup>アン・リー</sup>李安監督の功績によるもの。これに対し、私が6月17日に観た『カンフーパンダ』(08年)はジョン・ステイヴンソン監督、マーク・オズボーン監督のハリウッド製カンフーもの。このように、カンフーをめぐる米中融合はここ10年足らずの間に大きく進展した。もっとも、『カンフーパンダ』はジャック・ブラック、アンジェリーナ・ジョリー、ダスティン・ホフマン、ジャッキー・チェンら大物スターが声優をつとめているが、所詮アニメ映画。

ところが、『ドラゴン・キングダム』はプロデューサー、監督、脚本はアメリカ人だが、製作総指揮、アクション監督として、『グリーン・デスティニー』や『マトリックス・リローテッド』(03年)、『マトリックス・レボリューションズ』(03年)、『キル・ビル～KILL BILL～Vol.1』(03年)、『キル・ビル～KILL BILL～Vol.2』(04年)等のアクションを担当した世界的なアクション監督である中国人のユエン・ウーピンが前面に。

さらに後述のとおり、中国側4人、ハリウッド側1人の俳優陣のチームワークもバ

ッチリ。フランスのサルコジ大統領やドイツのメルケル首相は、08年3月に発生したチベット騒動を受けて北京オリンピック開会式への出席拒否をほのめかしたが、アメリカのブッシュ大統領はいち早く出席を表明。これは、政治、経済、軍事(?)の分野で確実に米中融合が進んでいることの表れだが、この映画を観ると、映画界における米中融合は今やここまで!

## さすがハリウッド! 2人のJが共演!

この映画の目玉は、何といても2人のJの初共演! さすがハリウッドだ。2人のJとは、アクションとカンフーの天才、香港生まれのジャッキー・チェンと大陸生まれの<sup>ジェット・リー</sup>李連杰。9歳年が違う2人のカンフー映画の実績を述べればきりが無いから、それはパンフレットを購入してしっかり勉強してもらいたい。

映画冒頭に孫悟空役として登場し、派手なカンフーを披露するのが<sup>ジェット・リー</sup>李連杰だが、呪いを操る邪悪な帝国の支配者であるジェイド将軍(コリン・チョウ)の策略によって、彼は如意棒を奪われ石にされてしまったから出番はそれだけ……。いやいや、そんな脚本では<sup>ジェット・リー</sup>李連杰は怒って出演しないはず。そう思っていると、ほどなくして白い衣を着て、白い馬にまたがったカッコいい旅の僧侶サイレント・モンク役として再び登場。

他方、酔拳の達人として、例によって(?)飄々と登場するのがジャッキー・チェン扮するルー・ヤン。ルー・ヤンは、時空を超えて古代帝国にやって来たアメリカ人青年ジェyson・トリピティカス(マイケル・アンガラーノ)に対し要領よく彼がおかれた状況を説明した後、ジェysonと共に如意棒を孫悟空に返すための旅に出るのだが、ルー・ヤンが最初に対決するのが何とサイレント・モンク。さて、2人の闘いの行方は……? そして、その後の物語の展開は……?

## 裏主役(?)の美女2人に注目!

この映画の表看板は2人のJ、つまりジャッキー・チェンと<sup>ジェット・リー</sup>李連杰だが、私がそれに負けず劣らず注目したのが、裏主役とも言うべき2人の美女。

その1人は、ジェイド将軍の兵に襲われているルー・ヤンとジェysonを助けた美女ゴールデン・スパロウ。彼女はジェイド将軍に両親を殺された娘だが、今は女戦士としてジェイド将軍への復讐を心に誓っているようだ。ルー・ヤンとの「対決」終了後、一緒に旅をすることになったサイレント・モンクは、スパロウに対して「復讐は

ダメ」と諭したが、彼女の念願の実現は……？ このスパロウに扮するのが、15歳で北京電影学院に入学した秀才で、『五月の恋』（04年）（『シネマルーム17』357頁参照）のヒロイン、シュアン役で登場した美女リュウ・イーフェイだ。

他方、ジェイド将軍から不老不死の薬をもらう代わりに、石になった孫悟空に如意棒を届けに来ているジェysonを殺すよう頼まれ、それを請け負ったのが暗殺のスペシャリスト白髪魔女。この名前は香港の武侠小说『白髪魔女伝』のヒロインの名前から、彼女の魅力は長い白髪。したがって、彼女のアクションはそれを十二分に意識し活用したユニークなものになるから、注目を。この白髪魔女を演ずるのは、チャン・ユアン張元監督の『ただいま』（99年）（『シネマルーム17』421頁参照）でかわいい主任役として登場し、またミシェル・ヨー楊紫瓊主演の『シルバーホーク』（04年）（『シネマルーム17』151頁参照）でリー・ピンピンジェーン役をつとめていた、美人女優李冰冰。

## 知らない俳優はジェysonだけ

2人のJを表看板とし、2人の美女を裏看板にしたアメリカ人監督によるハリウッド映画のストーリー形成の核となるのが、運命に導かれし若者ジェyson。しかして、このジェysonを演ずるマイケル・アンガラーノだけが私の知らない俳優。調べてみると、彼は私が星5つをつけた感動作『シービスケット』（03年）に出演しているのだが、彼はこの映画の主役となった3人の男たちの役ではないから、印象に残らなかったのは当然。

そんなマイケル・アンガラーノ演ずるカンフーおたくの若者ジェysonは、ある日チャイナタウンでオールド・ホップ（ジャッキー・チェン）が経営する質屋の中で、謎の如意棒と出会ったことから、時空を超えてドラゴン・キングダム（古代帝国）に迷い込んでいくことに……。

## 勉強ネタがいっぱい

私が中国映画が大好きなのは、中国の歴史が好きなことと、『三国志』や『項羽と劉邦』など中国の歴史小説が大好きだから。中国にはまた『水滸伝』や『西遊記』など面白い物語がたくさんある。そしてパンフレットは、『ドラゴン・キングダム』は、中国の民衆文芸や伝承の万華鏡と言ってもいい。遊び心に満ちた作品だ」として、①西遊記、②八仙、③少林寺伝説、④白髪魔女伝の解説がある。

私たち日本人は、これらについて断片的にしか知らないから、それを体系的に学ぶにはいい機会。この映画には、そんな勉強ネタがいっぱいあることをお忘れなく。

## 特訓シーンにも注目！

特訓シーンを売りモノにしたハリウッド映画の代表作は、シルベスター・スタローン主演の『ロッキー』シリーズだが、『カンフーパーダ』も『ドラゴン・キングダム』も、それと同じ見どころが……。

カンフーの素人がいくら特訓を重ねても、達人の域に達するまでにはホントは何十年もかかるのだが、それをダイジェスト版で面白く見せることができるのが、映画の便利なところ。ルー・ヤンとサイレント・モンクのカンフーの早業はもちろん、その立ち居振舞いが美しいのは当然だが、当初いかにもひ弱そうだったジェイソンのカンフーがルー・ヤンやサイレント・モンクの特訓よろしきを得て、みるみるうちにサマになっていくから、それにも注目！

## ジェイソンはボストンに戻れるの？

ジェイソンが時空を超えて古代帝国に迷い込んだのは、運命に導かれるままに金色の謎の棒（＝如意棒）を孫悟空に返すべき役割を担ったため。ルー・ヤンとサイレント・モンクそしてジェイソンとスパロウの旅が、強敵ジェイド將軍と、ジェイド將軍に雇われた白髪魔女を前にして苦難と危機の連続となったのは当然。

ルー・ヤンとサイレント・モンクそしてジェイソンとスパロウの旅には、厳しい特訓の中で友情や恋愛も芽生えるが、目的達成の前にはそれらは些細なこと。さあ、孫悟空への如意棒の返還は無事達成できるのだろうか……？ そしてその後、ジェイソンは現在のアメリカへ無事戻れるのだろうか……？ さらに、ボストンに戻ってきたジェイソンを待つ新たな運命とは……？

2時間弱でこれだけカンフーを楽しみ、これだけストーリーを味わえれば、十分満足できたのでは……？

2008(平成20)年7月30日記